



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第113号(2013年6月28日)



【中国からの投資が増加】

ここ数年は中国のアフリカにおけるプレゼンスの向上が色々と話題になっていますが、同様に中国から中東への投資も増加傾向にあるようです。

中国における建設、不動産コングロマリット最大手のCSCEC (China Estate Construction Engineering Corporation)の中東部門は、ドバイの不動産投資会社であるSkai Holdingsの開発プロジェクトに投資することを発表しました。これはCSCECの中東における初めての投資になります。投資するプロジェクトはSkai Holdingsがドバイのザ・パームに建設中のリゾートホテルで、2016年には完成の予定です。投資家は客室を購入した上でそれをリースし、代わりにホテルの収入の一部を受け取る形になり、年率12%ほどの利回りが見込まれています。

これまでは中東への直接投資は西欧からの資金が多く、中国は後発でした、しかし中国が投資先の分散を図る中で、今後は中国のプレゼンスも増すだろうと予測されます。

Skai HoldingsのCEOのMulchandani氏は、今後中国からの投資はますます増加し、投資案件のみならず中国の企業が中東での事業を開始するだろうと予測しています。

投資以外に貿易の面でも、たとえばアラブ首長国連邦と中国との間の貿易額は足元10年間は毎年35%の勢いで増加しているとのことでした。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【アブダビとドバイのアルミニウム企業が合併】

色々な分野で競合関係にもあるアブダビとドバイですが、それぞれのアルミニウム企業が合併して世界でも大手の一角に食い込むような企業が新たにできるようです。

Dubai AluminiumとEmirates Aluminiumが合併して新たにEmirates Global Aluminiumという会社ができますが、来年の上半期にも年間230万トンの精錬が可能になるそうです。これは中国企業の生産キャパシティの動向にもよりますが、おそらく世界でも5番手ぐらいの位置づけになるようです。

アルミニウムの価格は足元では下落していますが、合併によって競争力を発揮することができるでしょうか。

【サウジアラビアが週末を変更】

6月29日付けで、サウジアラビアが現状の「木曜、金曜」の週末を「金曜、土曜」に変更しました。湾岸諸国の残りの各国は「木曜、金曜」が週末だったため、今回のサウジアラビアの変更によって湾岸諸国の週末が各国で合致することになります。これによって貿易や商業の面ではプラスの効果が見込まれています。

特にプラスの効果が期待されるのは石油関連などの輸出企業です。従来は「月曜から金曜」のうち3日間しかサウジアラビアでは業務が行われていませんでしたが、今後は4日間は業務が行われるようになります。

また、食糧などの輸入企業についても同じ理由でプラスの効果が期待されています。

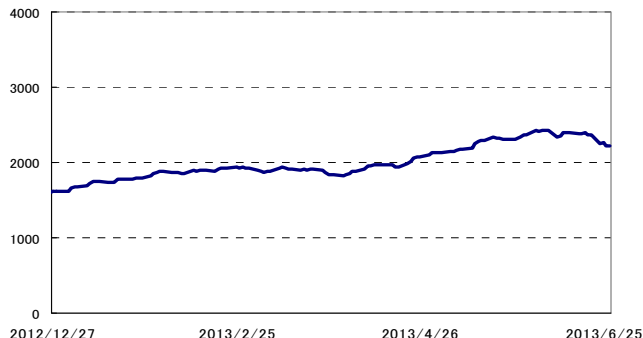


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

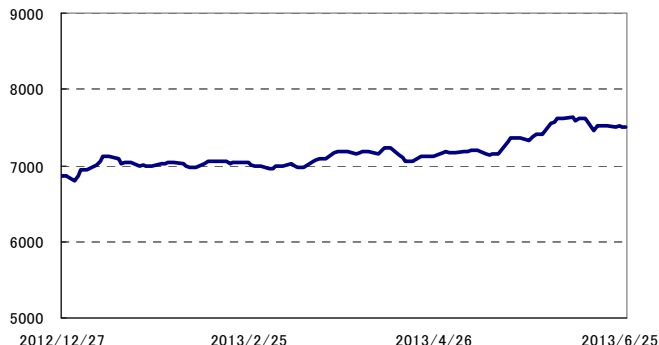


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

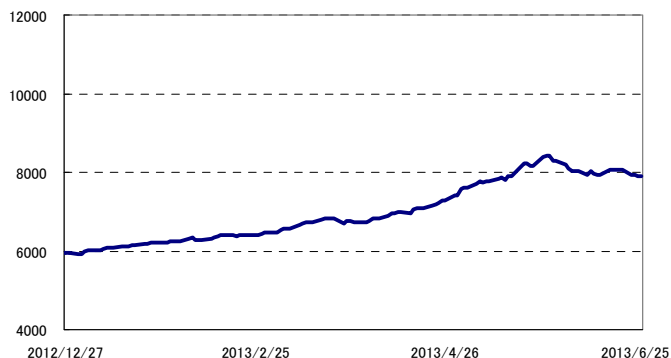
ドバイ金融市場総合指数



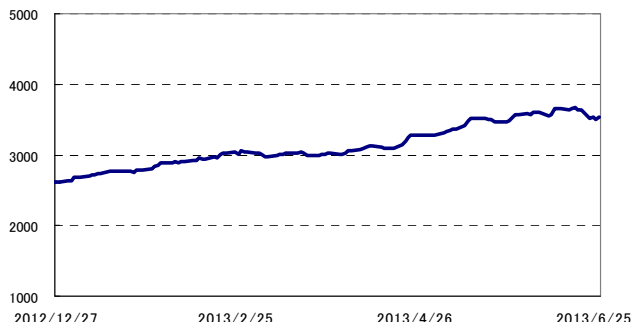
サウジアラビア タダウル全株指数



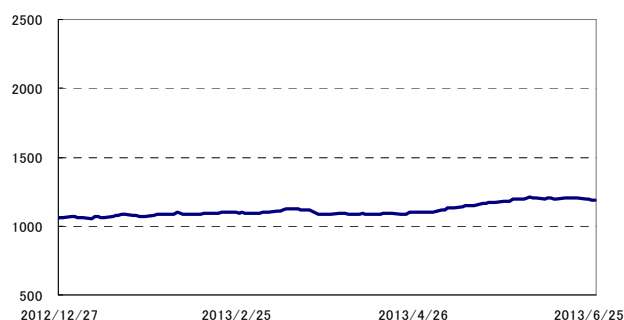
クウェート証券取引所指数



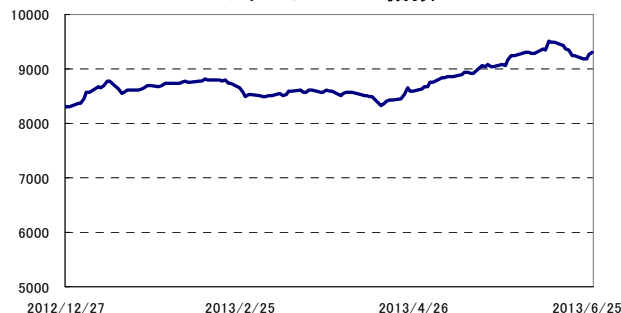
アブダビ証券取引所株価指数



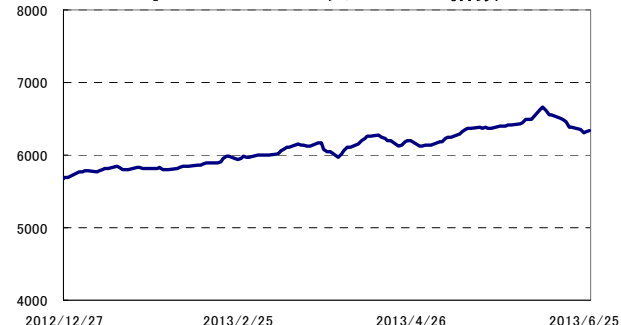
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。